



※防災ニュースは新町の自治会加入の全世帯に配布しています。

### 【備蓄とは？】

考えよう

備蓄・備蓄と言うけどいったい“何をどれだけ”？  
過去の災害(東日本大震災)のデータを参考に考える！



### (東日本大震災のデータより)

インフラ等の項目	復旧日数と影響		主な備え
電気 <b>電気・ガス・水道はストップ!</b>	平均	21日	<b>照明器具</b> (発電機・蓄電器・懐中電灯・ろうそくなど) <b>煮炊き器具</b> (飯盒・なべ・カセットコンロ・カマドなど)と <b>燃料</b> (カセットガス・灯油・薪・乾電池など) <b>冷暖房器具</b> (ストーブ・扇子など)
	最大	80日	
上水道	平均	35日	<b>飲料水</b> (1週間分) <b>洗浄</b> (使い捨て食器など) <b>洗濯</b> (使い捨て下着など) <b>風呂</b> (水を使わない歯磨き・シャンプー・体拭きシートなど)
	最大	162日	
下水道	平均	34日	<b>携帯トイレ用品</b> (凝固消臭剤と便袋) 1人1日8セット×35日=280セット <b>トイレトーパー</b>
	最大	123日	
ガス	平均	47日	電気と同様
	最大	104日	
食料品搬送(救援物資)	5日以上		最低 <b>1週間</b> 分の備蓄
情報通信(ラジオ・スマホなど)	基地局の電源消滅 3H~24H		モバイルバッテリーなど (家庭電源復旧まで3週間以上)
ガソリン・灯油	ガソリンスタンド待ち時間 5時間超		車のガソリンは半分になれば <b>給油</b> ・ガソリンの <b>備蓄</b> (赤缶・ガソリンの缶詰など)
医療機構	崩壊		感染症対策品・ケガの応急処置品・持病の薬品などの備え
警察機構	弱体化によるATMあらし・空き巣・性犯罪など		地域の <b>自警団</b> の編成・各家庭での <b>防犯用品</b> (サスマタ・催涙スプレー・スタンガンなど)の備え・鍵の二重ロックなど
金融機関	混乱・ATM崩壊		現金の保管など

トイレが使えない!

避難所には水・食べ物はない!

備えよう!

行政は1週間分の食糧備蓄を奨励していますが、東南海地震が起きた場合は東京・大阪・名古屋などの大都市圏が含まれており地方への救援物資は1週間で届くとは思われません。東日本大震災のデータにおいても物資の搬送は5日かかっています。

行政に頼らず、まず自身で考え備えて下さい。



# 我が家の防災対策 防災リーダー 橋本

## 防災対策の考え方

幼児・小学生が同居の二世帯住宅なので、  
自宅避難ができるようにしたいと考えています。

### ○安心出来る住宅

#### ①就寝時の安全確保

寝室に転倒しやすい家具をなくす。  
枕元に懐中電灯 ベット下に運動靴・防寒シート  
ホイッスル・軍手・ラジオ・上着を常備



#### ② 台所の食器棚は

設置の時に、転倒防止対策を行いました。



### ○インフラ(電気・ガス・水道)の停止に備え

① ソーラー発電中は電源切替により一部電力は確保出来ます。ただし雨天・夜間は使用できません。

②ガスの停止には、カセットコンロ・ボンベを常備

また、石油ストーブ・暖房用石油を保存

カセットコンロに圧力鍋を使用すると、調理時間が短縮されガスの節約になります。

③断水には、飲料水を家族6人で三日分を目安に50リットル保存 ← 今後 1週間分以上に増量予定  
給水車より給水を受ける事に備え、アウトドア用ポリタンクやビニール袋を常備  
それらを運ぶ台車も準備しています。



### ○非常時の蓄え

レトルト食品・缶詰などを約1週間分を保存し、  
使用した分を補充する(ローリングストック)

防災備品を備える

ブルーシート・ロープ・防寒シート・雨具・簡易トイレ  
軍手・ボール

